

平成30年度の総会を終えて 徳岡先生ご勇退

なかうみちゃん 通信 第2号 2018年6・7月

平成30年6月16日土曜日、平成30年度の自然再生センター総会を開催致しました。会員総数114名の内25名(表決委任者46名)の皆様にご出席いただきました。お忙しい中お越しいただき誠にありがとうございました。

今回の総会では、熊谷昌彦先生(米子高専名誉教授)に話題提供、その後定款変更、任期満了による役員改選、平成29年度事業・会計報告、平成30年度事業・予算計画、正会員費の値上げについて報告致しました。

この度の役員改選では、当法人の設立者である徳岡隆夫先生が理事長をご勇退され、新理事長として熊谷昌彦先生が互選されました。徳岡先生には長きに渡り、多くの面で当法人にご尽力いただきました。当日は初代事務局長の相崎守弘先生もお越しください、皆様と当時を振り返っておられました。徳岡先生、ありがとうございます。

(中演)



徳岡先生総会時ご挨拶 (一部抜粋)
最初にこのNPOができたのが2006年の3月、相崎先生の他にも色々な先生方と「自然再生推進法でやろう」ということで、中海干拓淡水化事業が終わった後で

効果的な自然再生をするためにはそれがいいのではないかとということで、お二人に大変助けられ、NPOを立ち上げて、日夜やってききました。

通信担当のつばやき
2か月が過ぎるのはあっという間です。毎日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか? 「もったいなくない!」というものがございましたら、お気軽にご連絡ください! ご意見、ご感想もお待ちしております。

(中略) 資金が無くて、工夫すればできることがあります。(中略) NPOとしての活動は熊谷先生に任せるとして、研究者が中心となって、できるところをきちんとやっていくことが、非常に大事なのではないかと私は思っています。

私はもう80歳になったので引退いたしますが、学問から身を引く訳ではないので、これから調査研究をしている方々と一緒にできることをやっていきたいと思っております。長年一緒にやってきた方々が松江にいらなくなったたりして中々難しいところですが、今日は相崎先生にお越しいただいて非常に嬉しいです。新理事長の熊谷先生は初期から一緒にやってきた仲間、専門は違いますが、幅広い分野からする事も大事だと思います。大変なことあるとは思いますが、これから期待しています。ありがとうございます。

食の会(6月)開催 新理事長の就任を祝して



平成30年6月21日木曜日、6月の食の会を事務局にて開催致しました。メイン食材はアジ・コノシロ・コチ・スズキ・アカニシガイ等々! 今回も大根島の漁師の皆様との全面協力の下(センタースタッフも漁に参加しました)豊富な食材がテーブルを彩りました。漁師の皆さん、いつもありがとうございます。料理も、今まで食べたことのないようなものばかり。身近な食材も、こんなにアレンジできるのかと毎回驚きです。

今回はサプライズで熊谷先生の理事長就任のお祝いも行いました。花束の贈呈と参加者による三線の演奏も! 飲んで歌って、素敵な夜となりました。最近では県外からの参加者も増えました。皆様もぜひ一度おいでください! 次回開催は10月を予定しております。詳細が決まり次第、お知らせいたします。参加人数に限りがございますので、ご希望の方は早めに! (中演)

熊谷新理事長コメント
この度、理事長を承ることにになりました。今後の体制につきましてはまた皆さんと一緒に考えながらやっていきたいと思っておりますが、特に今は次世代の育成が言われていますので、それに集中しながらやっていきたいと思っています。皆様のご協力と様々な団体との相互の交流が必要になってくると思います。また、徳岡先生が今まで築かれた様々な業績を深く受け止めて、それをさらに発展できればと考えております。皆様よろしくお願いたします。





自然再生センターの紹介

那須国立公園



平成30年7月30日月曜日、環境省関東地方環境事務所日光国立公園那須管理事務所に、「中海の包括的再生・自然再生推進法に基づく再生と認定NPO法人」という題目で、自然再生センターの今までの取組などをご紹介させていただき、その後、意見交換や現地見学などを行ってまいりました。

那須平成の森には、豊かで多様な自然環境が残されており、ブナなどの自然林などが広がるほか、希少種をはじめ多くの動植物が生息・生育しています。天皇陛下の、その豊かな自然を維持しつつ、国民が自然に直接ふれあえる場として活用してはどうかとの考えを受けて、天皇陛下御在位20年という節目の機会に、御用邸の約半分にあたる約560ヘクタールが宮内庁から環境省に移管され、日光国立公園「那須平成の森」として保全整備されていきました。天皇陛下御一家の思いを感じる場所でした。(小倉)



天神川の水草刈り 今年もこの季節がやって来ました！



つ、子ども達は直接川に入っ
て、ダイナミックに(笑)水草を
刈ってくださいました。一方、
生き物観察では島根県環境保健
公社の指導の下、水の透明度、
CODテスト、生き物採取を行
いました。テナガエビやシジミ、
ヤゴ等々：普段なかなか生き物
に触れる機会のない女の子たち
は「うひゃー」と言いながらも
目をキラキラさせていました。
このような活動を通して、水辺
に親しむを感じてもらえたらと
思います。(中瀆)



平成30年7月14日土曜日、
毎年恒例の天神川の水草刈り・
生き物観察会を行いました！
当日は堅町カッパ隊、一般参
加、大学生の総勢27名の方々
にご参加いただきました。水草
は夏になると繁茂し始め、多
量な腐敗とヘドロ化し、景観
悪化や悪臭の原因となります。
その水草を適度に刈り取り、刈
り取ったものは畑(下記記事記
載)にまいて、再利用していま
す。大人は竹の棒2本を束ねた
特製の道具を使って、バスター
絡めとるようにくると巻き

畑で奮闘中！ オゴノリング大作戦

今年度よりスタートした
「オゴノリング大作戦」*
1・2の一環で、里芋・大
豆の栽培をはじめました。大
里芋は約5アール(5000
㎡)、大豆は約6アール
(600㎡)の面積を
使って、大根島で無農薬
栽培をしています。里芋
の土作りには、一部中海
の海藻「オゴノリ」を使
用しており、資源の循環
を考えた生産を行っています。
また、畑の管理は理事
や大根島の農家さんにア
ドバイスをしていただき
ながら、主にスタッフ2
名で行っております。ど
ちらも素人ですのにな
なかな思うようにいきま
せんが、応援よろしくお願
いいたします。(須山)*
1..詳しくは「なかうみ
ちゃん通信創刊号」をご覧
ください*2..この事業はセ
ブナイレブ 記念財団の
ZPO自立強化助成を受けて
います。



【募金箱設置のお礼】

今年2月に、募金箱を作成しました。現在、事務局周辺他、様々な店舗や施設に設置していただいております。皆様のご協力のおかげで20,328円のご寄付をいただくことができました。(7月現在)本当にありがとうございます。店舗などで見かけた際は、ぜひ皆様のお気持ちをいただくことができると嬉しく思います。

【畑ボランティア募集】

「オゴノリング大作戦」に興味のある方、大根島での栽培に興味のある方、生産した作物の販売方法のアイデアある方！という方、私たちと一緒に活動してみませんか？土を踏み、太陽のもとで作業して流れる汗が、身体をくすぐる心地よさを生み出してくれます。参加したい方はぜひ下記事務局までご連絡ください！